

2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社ネオマーケティング 上場取引所 東
 コード番号 4196 URL <https://www.neo-m.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 光伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 森田 尚希 (TEL) 03-6328-2880
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,605	△5.9	47	△80.5	47	△80.6	170	11.2
2023年9月期第3四半期	1,706	1.2	241	16.2	243	17.0	153	35.4

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 170百万円(11.2%) 2023年9月期第3四半期 153百万円(35.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	69.04	67.80
2023年9月期第3四半期	62.17	60.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,709	832	48.7
2023年9月期	1,376	652	47.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 832百万円 2023年9月期 652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	2,100	△7.7	20	△93.6	20	△93.6	140	△29.4	55.49	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名)一、除外 一社(社名) 株式会社セールスサポート

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年9月期3Q	2,527,600株	2023年9月期	2,522,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年9月期3Q	53,674株	2023年9月期	61,324株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期3Q	2,468,728株	2023年9月期3Q	2,465,236株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(企業結合等関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「～Make Everyone Wonderful～私たちは人の心を満たす商品・サービスがあふれる社会を目指している」をビジョンに掲げ、企業のマーケティング活動を強力に支援するサービスを包括的に提供しております。

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、社会経済活動の正常化が進展するとともに、企業収益や個人消費の持ち直しが見られ、加えて円安を背景とした訪日インバウンド需要が旺盛となる等、経済活動の正常化に向けた動きが進展しました。一方で、不安定な世界情勢や金融情勢の影響等を起因とした資源価格の高騰や食品・日用品を含めた生活必需品の物価高傾向が継続し、経済の見通しは依然として不透明な状況が続いております。

日本企業は、DX推進、イノベーションの創発、生産性の向上、人口減少の中での顧客創造、といったテーマに直面し、急速に変化する市場環境の中でマーケティングのあり方そのものの見直しを迫られております。そういった課題背景のもと、中長期的に当社グループが提供するマーケティング支援事業の需要が喚起されていくものと予想しております。

このような状況の中、当第3四半期は中期経営計画に沿った人材採用活動と育成活動に注力いたしました。組織力強化・営業力強化の取り組みといたしましては、マーケティングコンサルタント職を中心に、リサーチャー、デジタル広告等の専門人材に関して積極的な採用活動を実施しました。採用活動は順調に進んでいるものの、当初想定よりも採用人員の育成に時間を要したことで顧客獲得に遅れが生じておりますが、中長期的な受注体制及びサービス提供体制拡充に向けた活動に注力することで来期業績に寄与できるように進めております。

また、上記と並行して未来への種まきとなるサービス開発や、新たな取り組みとして、迅速かつ効率的に生活者インサイトの理解促進をサポートし、より詳細な顧客理解を実現する「リピートインタビュー」サービスを開始いたしました。あわせて、クライアント企業の担当者様のマーケティング実務をサポートし、共にナレッジを向上させ、マーケティング活動の成功確率を高めるべく伴走支援する「マーケティング研修・インタビュー研修サービス」を開始いたしました。

新規事業の取り組みとしましては、株式会社MDが運営するセルフインタビューツール「リサーチDEMO!」の事業譲受により、より短時間で高品質かつ安価に定性調査を実施できる体制を構築いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,605,524千円（前年同四半期比5.9%減）、営業利益47,237千円（同80.5%減）、経常利益47,085千円（同80.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益170,448千円（同11.2%増）となりました。

なお、当社グループはマーケティング支援事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間の資産につきましては、1,709,438千円となり、前連結会計年度末に比べ332,818千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加317,379千円、のれんの増加に伴う無形固定資産の増加55,853千円があった一方で、受取手形及び売掛金の減少67,824千円があったことによるものです。

(負債)

負債につきましては、877,006千円となり、前連結会計年度末に比べ153,108千円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加173,505千円があった一方で、短期借入金の減少25,004千円、未払法人税等の減少52,135千円があったことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、832,432千円となり、前連結会計年度末に比べ179,709千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益170,448千円の計上による利益剰余金の増加、自己株式の処分による増加8,736千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2024年5月14日に「連結子会社の異動（株式譲渡）、特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から修正しております。詳しくは、2024年8月13日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当該業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	498,310	815,689
受取手形及び売掛金	286,999	219,175
仕掛品	28,436	25,872
貯蔵品	7,406	8,773
その他	53,368	60,588
貸倒引当金	△898	△186
流動資産合計	873,622	1,129,912
固定資産		
有形固定資産	40,131	36,817
無形固定資産		
のれん	125,939	184,727
ソフトウェア	12,906	9,972
無形固定資産合計	138,845	194,699
投資その他の資産		
差入保証金	256,417	255,694
その他	67,601	92,314
投資その他の資産合計	324,019	348,008
固定資産合計	502,997	579,525
資産合計	1,376,619	1,709,438
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,257	49,152
短期借入金	25,004	—
1年内返済予定の長期借入金	53,201	121,504
前受金	22,934	35,286
未払法人税等	52,626	490
賞与引当金	—	16,091
パネルポイント引当金	77,218	86,966
その他	161,009	136,974
流動負債合計	466,251	446,466
固定負債		
長期借入金	251,620	425,125
資産除去債務	3,036	3,052
その他	2,989	2,362
固定負債合計	257,645	430,539
負債合計	723,897	877,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	84,721	85,186
資本剰余金	285,127	285,186
利益剰余金	352,906	523,354
自己株式	△70,032	△61,296
株主資本合計	652,722	832,432
純資産合計	652,722	832,432
負債純資産合計	1,376,619	1,709,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,706,761	1,605,524
売上原価	904,522	875,116
売上総利益	802,238	730,407
販売費及び一般管理費	560,275	683,169
営業利益	241,963	47,237
営業外収益		
受取利息	2	3
業務受託料	—	552
補助金収入	1,861	627
その他	1,197	1,112
営業外収益合計	3,062	2,294
営業外費用		
支払利息	1,703	2,405
支払保証料	278	41
営業外費用合計	1,981	2,447
経常利益	243,043	47,085
特別利益		
子会社株式売却益	—	167,899
特別利益合計	—	167,899
税金等調整前四半期純利益	243,043	214,984
法人税、住民税及び事業税	79,825	23,124
法人税等調整額	9,953	21,412
法人税等合計	89,778	44,536
四半期純利益	153,264	170,448
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,264	170,448

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	153,264	170,448
四半期包括利益	153,264	170,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,264	170,448

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、マーケティング支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	6,864千円	6,806千円
のれんの償却額	15,437	13,927

(企業結合等関係)

(事業分離)

当社は、2024年5月14日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社セールスサポートの全株式を譲渡することを決議し、2024年5月15日付で譲渡いたしました。これに伴い、当第3四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として、当社の連結子会社から除外しております。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

名称：株式会社ディ・ポップスグループ

(2) 分離した子会社の名称及びその事業の内容

名称：株式会社セールスサポート

事業内容：BtoBマーケティング支援事業

(3) 事業分離を行った主な理由

当社グループは、「人と企業の架け橋となる価値ある情報サービスを提供し、人々の生活向上と社会発展に貢献する」という理念のもと、マーケティング支援事業を展開しております。株式会社セールスサポートにおきましては、600万件以上の新鮮な企業情報を地域・業種別に自動でリスト化できるUrizo(ウリゾウ)を提供し、企業間のご縁を紡ぐサービスを展開しております。

当社グループは株式会社セールスサポートを2015年に子会社化し、BtoB事業者に向けたマーケティング支援を行ってまいりましたが、当社グループとの事業シナジーや市場環境、経営資源の選択と集中を検討するなか、株式売却について検討したところ、株式会社ディ・ポップスグループへ株式譲渡することが3社にとって最善であるとの判断に至ったものであります。

(4) 事業分離日

2024年5月15日(みなし譲渡日：2024年4月1日)

- (5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項
受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

子会社株式売却益 167,899千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産 71,155千円

固定資産 658千円

資産合計 71,813千円

流動負債 14,577千円

負債合計 14,577千円

(3) 会計処理

当該株式会社の連結上の帳簿価額と売却価額との差額を子会社株式売却益として特別利益に計上しております。

3. 譲渡した子会社の事業が含まれていた報告セグメント

マーケティング支援事業

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高 38,446千円

営業利益 22,596千円